

安全データシート

発行日 2013年5月8日

改訂日 2023年8月7日

1. 化学物質等および会社情報

* 製品名	水性カラーワックス イエロー
* 整理番号	27507
* 会社名	和信ペイント株式会社
* 住所	〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽2100番地18
* 担当部門	技術部
* 担当者	川島 健幸
* 電話番号	0480-48-2021
* FAX番号	0480-48-2024
* 緊急連絡先	0480-48-2021
* 製品の種類:	水性ワックス
* 主な用途:	木工塗装用

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

有害性項目	分類結果	注意喚起語	危険有害性情報
引火性液体	区分に該当しない		
急性毒性 経口	区分に該当しない		
急性毒性 経皮	区分に該当しない		
急性毒性 吸入:ガス	区分に該当しない		
急性毒性 吸入:蒸気	区分に該当しない		
急性毒性 吸入:粉塵、ミスト	区分に該当しない		
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない		
目に対する重篤な損傷性/目刺激性	区分に該当しない		
呼吸器感作性	区分に該当しない		
皮膚感作性	区分に該当しない		
生殖細胞変異原性	区分に該当しない		
発がん性	区分に該当しない		
生殖毒性	区分に該当しない		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない		
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分に該当しない		
誤えん有害性	区分外		
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない		
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない		
オゾン層への有害性	分類できない		

※ 注意喚起語は、「危険」がある場合は「危険」を、「危険」が無く「警告」がある場合は「警告」を表示します。

※ 特定標的臓器毒性(単回ばく露)、(反復ばく露)の詳細は、「11. 有害性情報」の個々の物質データをご参照下さい。

【GHSラベル要素】

該当無し。

【注意書き】

〔安全対策〕

- * 使用前に注意書きをよく理解して取り扱うこと。
- * 飲食または喫煙をしながらこの製品を使用しないこと。
- * 必要に応じて個人用保護具(保護手袋および保護眼鏡・保護マスク等)を着用すること。
- * 取扱い後はよく手を洗いうがいをする事。

〔救急処置〕

- * 火災の場合には、消火に炭酸ガス・泡・粉末消火器を使用すること。
- * 眼に入った場合は直ちに水で注意深く洗い、医師の診断・手当を受けること。
- * 皮膚または衣服に付着した場合は直ちに大量の水と石鹼等で洗い、汚染された衣服は新しい物に取り替えること。
- * 気分が悪くなったり皮膚刺激等異常を生じた場合、医師の診断・手当を受けること。
- * 暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断・手当を受けること。

〔保管〕

- * 換気の良い冷所で保管すること。

〔廃棄〕

- * 残塗料・廃液および容器は河川や下水道に捨てず、市町村の規則に従って廃棄すること。

※ 注意書きは水系塗料共通の注意書きを記載しています。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名： 水性ワックス

成分名	重量 (%)	CAS No.	化学構造式	通知対象物質
助剤	1～5	—	—	—
顔料	5～10	—	—	—
イソパラフィン	20～30	64741-65-7	—	—
樹脂	20～30	—	—	—
水	40～50	7732-18-5	H ₂ O	—

4. 応急措置

〔飲み込んだ場合〕

- * 無理に吐かせずに、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- * 嘔吐物は飲み込ませないこと。

〔吸入した場合〕

- * 蒸気ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

〔皮膚に付着した場合〕

- * 付着物を布で素早く拭き取り、大量の水及び石鹼、又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。
- * 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

〔目に入った場合〕

- * 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- * 出来るだけ速く医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

〔使用可能な消化剤〕

- * 水(○), 炭酸ガス(○), 泡(○), 粉末(○), 乾燥砂(○), その他(),

〔火災時の特定の危険有害性〕

- * このもの自体は可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。
- * 燃焼すると、一酸化炭素を発生させる可能性がある。

〔特定の消火方法〕

- * 消防隊に火災の場所と危険有害性を伝える。
- * 呼吸用保護具と防護手袋を着用する。
- * 指定の消火剤を使用する。
- * 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- * 消火活動は風上から行う。
- * できる限り流出物が配水管または水路に入るのを防ぐ。

〔消火を行う者の保護具等〕

- * 状況に応じて呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等を使用する。

6. 漏出時の措置

〔人体に対する注意事項、保護具及び緊急処置〕

- * 作業の際には保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。

〔環境に対する注意事項〕

- * 流出物が配水管または水路に入るのを防ぐ。
- * 配水管または水路の汚染が生じる場合は関係機関に連絡する。

〔回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材〕

- * 漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- * 乾燥砂、土、その他の不燃性材料を用いて流出を阻止し、残留物を吸着させて回収する。
- * 蒸気の拡散を吸収するのに水スプレー噴霧を用いてもよい。
- * 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理すること。

16. その他の情報

〔主な参考文献〕

- * 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) 公表データ
- * 社団法人日本塗料工業会 原材料物質データベース
- * 社団法人日本塗料工業会 GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]
- * 社団法人日本塗料工業会 モデルMSDS・モデルラベル事例集[混合物(塗料用)]
- * 中央労働災害防止協会 GHS対応による混合物(化学物質)のMSDS作成手法の研修テキスト
- * 溶剤ポケットブック
- * 危険防災救急便覧
- * 国際化学物質安全カード(ICSC)
- * 使用原料のSDS

〔注意事項〕

- * 記載内容は現時点で入手できる資料, 情報, データに基づいて作成しておりますが、含有量, 物理化学的性質, 危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
- * 新しい知見や安全情報が判明した場合は、予告なく変更する場合があります。
- * 注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。
- * すべての化学製品には未知の危険性・有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。
- * ご使用各位において、安全な使用条件を設定下さるようお願い申し上げます。
- * 本文書の適用範囲は日本国内に限ります。